

北海道サービス管理責任者実践研修・児童発達支援管理責任者実践研修 シラバス

研修全体として、次の意思決定支援の推進の考え方を盛り込む

- ・障がい者が希望する生活を実現するためにサービスの質の向上を図るとともに、障がい者本人の意思を尊重し、選択の機会を確保するためには意思決定支援が必要であることを理解する。
- ・サービス担当者会議及び個別支援会議について、本人の心身の状況等によりやむを得ない場合を除き障害者本人の参加を原則とし、会議において本人の意向等を確認することが定められたことを踏まえ、意思決定支援の視点や手法について理解する。

【講義日程】

	時 間	内 容
e ラ ー ニ ン グ	60分	障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
	50分	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議のポイントの整理）
	50分	（自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み

【演習日程】

	時 間	内 容
1 日 目	10:45～12:30	見立てる力をつける
	12:30～13:20	（お昼休み）
	13:20～14:50 （10分休憩）	見立てを共有し、高める
	15:00～16:30 （10分休憩）	効果的な会議の実施方法①
	16:40～18:10	効果的な会議の実施方法②
2 日 目	9:30～11:30 （10分休憩）	人が育ちあう現場づくり
	11:40～12:40	当事者から学ぶ(事例検討理論)
	12:40～13:30	（お昼休み）
	13:30～14:30 （10分休憩）	当事者から学ぶ(事例検討実践)
	14:30～16:30	現場からの地域づくり

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	又村あおい
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉及び児童福祉施策の最新の動向を理解する ・ 現場に必要とされる最低限の制度に関する知識を確認する ・ 制度理解に関する自己把握と、情報を得るための手段を理解する
○	8 教科の概要	障害福祉サービス、障害児支援サービスの種類やその概要、相談支援の仕組みについて最新情報を踏まえて説明をする。最近改正や新設のあったものなど、変更点については変更点の背景や趣旨などについても理解できるよう説明を行う。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修全体のねらい、障害福祉施策の全体像（25分）、理解度テスト（5分） ・ 重要な点を深める（25分）、理解度テスト（5分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス提供のプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議のポイントの整理）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	・サービス担当者会議の意義と実際について理解を深める ・サービス担当者会議を含む多職種連携、地域連携の機会におけるサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割を理解する
○	8 教科の概要	多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕の役割（相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法）について理解する。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・サービス担当者会議と地域連携の実践①（20分）、理解度テスト（5分） ・サービス担当者会議と地域連携の実践②（20分）、理解度テスト（5分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 サービス等利用計画と個別支援計画の関係
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義③（自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・（自立支援）協議会の意義、目的、活動内容等について理解する ・個別のニーズを協議会に持ち寄ることの意義やその解決のプロセスにおいてサビ管・児発管の役割があることを理解する ・協議会へサビ管・児発管が関与する具体的なイメージを持つことができる
○	8 教科の概要	サービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕の業務を通して見出される地域課題を解決するための（自立支援）協議会の活用について実践報告等により学ぶ。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・（自立支援）協議会の実践報告①（20分）、理解とテスト（5分） ・（自立支援）協議会の実践報告②（20分）、理解度テスト（5分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 見立てる力をつける
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習①モニタリングの方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・サービス等利用計画と連動したモニタリングの視点を理解する ・モニタリングのプロセスにおいて権利擁護を意識することができる ・支援者の困り感と本人の困り感の対比ができる
○	8 教科の概要	改めて現場において必要なモニタリングの視点を学ぶことにより、重要な理念や考え方を理解し、各自持参した支援事例について、その視点をを用いて改めてモニタリングを行います。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・グループ内自己紹介(20分) ・モニタリング概論の講義(20分) ・シートを用いて個人ワーク、グループワーク(40分) ・全体共有(10分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 見立てを共有し、高める
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習①モニタリングの方法 講義・演習②個別支援会議の運営方法
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・モニタリングで得た情報を整理し、今後につなげることができる ・個別支援会議の意義、進行方法、内容などの実務について理解する
○	8 教科の概要	本人中心、本人主体のモニタリングの結果から、個別支援会議で検討する内容や目的などを整理します。 そのうえで、個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について講義で説明します。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・モニタリング情報の整理（30分） ・個別支援会議に関する講義と関連シートの作成（60分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 現場の会議を効果的に行う
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習②個別支援会議の運営方法
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議を実施するための計画を立てることができる ・個別支援会議のための準備を理解する ・個別支援会議の実行イメージと実施のポイントや工夫などを理解することができる
○	8 教科の概要	個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕としての説明スキルへの気付き、理解、向上を図ります。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議準備演習①（30分） ・個別支援会議演習①（45分） ・個別支援会議に関する中間講義（15分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 連携機関との会議を効果的に行う
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習②個別支援会議の運営方法
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・連携を意識した個別支援会議を実施するための計画を立てることができる ・連携を意識した個別支援会議のための準備を理解する ・連携を意識して個別支援会議の実行イメージと実施のポイントや工夫などを理解することができる
○	8 教科の概要	相談支援や他の支援者と協働した個別支援会議における合意形成過程や見立て、スキルの共有について模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕としての説明スキルへの気付き、理解、向上を図ります。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議準備演習②（45分） ・個別支援会議演習②（45分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 人が育ちあう現場づくり
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習②個別支援会議の運営方法 講義・演習③サービス提供〔支援提供〕職員への助言・指導について
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議に関する理解を確認し、現場に持ち帰る内容を具体化することができる ・現場の従業者に関する見立てや指導方法について基礎的な業務内容と視点、ポイントについて理解する ・自らの現場における他の従業者への指導・助言など人材育成の実態や課題について振り返ることができる
○	8 教科の概要	<p>模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者〔児童発達支援管理責任者〕の役割についてグループワークにより整理し、まとめます。</p> <p>サービス提供〔支援提供〕職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義を聞き、基本的な内容を理解します。</p> <p>講義を踏まえて、自分の普段の実践について可視化して、振り返ります。</p>
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議の振り返り・まとめの演習（30分） ・人材育成基礎概論講義（30分） ・人材育成セルフチェックとグループ内の共有（60分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 当事者から学ぶ(理論)
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習④実地教育としての事例検討会の進め方
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の意義とポイントを理解する ・事例検討の準備から実施までの実務、活用方法について理解する ・事例検討の効果を踏まえて、普段の業務における事例検討要素の把握をすることができる
○	8 教科の概要	<p>事例検討のそもそもの目的、方法、効果等について講義で説明します。</p> <p>また、普段の業務を振り返り、事例検討に含まれる要素がチームアプローチの強化や人材育成にも効果につながることを理解します。</p> <p>グループで事例検討を行うための具体的な準備を行います。</p>
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の基礎講義 (20分) ・事例検討のためのセルフチェック (15分) ・事例検討のための準備 (25分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 当事者から学ぶ(実践)
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義・演習④実地教育としての事例検討会の進め方
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・事例検討を体験し、効果的な実施方法を身に付ける ・事例検討の結果を分析し、実務に活かす視点を身に付ける ・模擬の事例検討を通じ当事者から学ぶ視点を養い、実務で活用する方法を獲得する
○	8 教科の概要	講義やセルフチェックで把握した内容を踏まえて、グループで事例検討を行います。 事例検討の実施を通して気付いたことや実務に活かせる点を整理し、共有します。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	・事例検討の実施(45分) ・事例検討のまとめ理論(15分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義・演習】 現場からの地域づくり
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち 金子志 河内哲也 木田祥平 佐藤忠峰 瀧睦美 林範行 松本拓生 日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	110分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議、（自立支援）協議会についての意義や活用方法について理解を深める ・ 自らの連携に関する実態を把握し、課題と今度の方針を見つけてることができる ・ 現場の一人ひとりのニーズから地域の課題、地域づくりの流れと連動性を理解し、実務に活かすためのイメージを持つことができる
○	8 教科の概要	サービス担当者会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてセルフチェックをもとに、グループ討議を通じて、連携のあり方について整理し、まとめます。
○	9 授業方法	講義及び演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議、協議会についてのセルフチェックシートの作成と共有（45分） ・ 個別ニーズから地域づくりを考えるワークショップ（45分） ・ まとめ（20分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	